

① 見出しにある「東南アジア」にあてはまる国の名前を、記事からすべて抜き出してください。

ベトナム、インドネシア、タイ

② 大分県は留学生受け入れの促進を、何に基づいて行っていますか。記事の中から抜き出してください。

大分県海外戦略

③ 記事の中にある数字を使って、2016年5月1日時点の大分県の人口を計算してください。ただし、千人以下は切り捨てます。

$$100000 : 303 \cdot 1 = \square : 3516$$

約116万人

人口当たりの留学生数

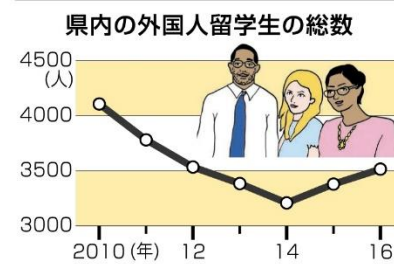
2016年度、大分県の人口当たりの留学生数は全国2位で、15年度から順位を一つ下げた。県が集計した。トップは京都府。両府県の順位は14年から毎年、入れ替わっている。3位の東京都との差は大きく、今後両府県のトップ争いは続きそう。

大分県「全国2位」に

中国減、東南アジア増

16年度

日本学生支援機構が3月に公表した外国人留学生在籍状況調査結果を基に、県が大学と大学院、短大、高専を対象に集計した。数値は16年5月1日時点。都道府県別の人口10万人当たりの留学生数は、1位の京都府は307.5人。大分303.1人、東京246.3人、群馬189.4人、福岡153.1人だった。県内の留学生数は3516人だった。



順位	都道府県	人数	前年比増減
1	京都府	307.5人	8.5%
2	大分県	303.1人	5.0%
3	東京都	246.3人	4.4%
4	群馬県	189.4人	67.2%
5	福岡県	153.1人	▲4.4%

*大学・大学院・短大・高専の在籍分。▲はマイナス。数値は2016年5月1日時点

増、タイが290人(同32人増)だった。韓国からは630人(同4人増)で15年並み。県は「大分県海外戦略」に基づき、留学生の受け入れ促進に力を入れている。卒業後も県内で活躍しても

らえるよう「おおいた留學生ビジネスセンター」をはじめとした支援を強化している。県国際政策課は「受け入れ態勢や留学生獲得に向けた各大学の取り組みを支援したい」としている。(衣笠由布妃)

(2017年6月6日付朝刊県政面)